

支援方針

- 1) 「子ども目線」に立って関わり、大人から歩み寄りながら、支援を行っていく。
- 2) 職員間で支援の目的を共有し、支援の一貫性が途切れないように支援を行っていく。職員間での情報共有はもちろん、其中で一人一人が療育の知識を深めていくことができるように取り組んでいく。
- 3) 保護者の方の想いに寄り添って、支援の方向性を組み込む。日々の支援を通して、お子様が少しずつ成長していることを伝えていくことで、保護者の方が預けてよかったと思えるように支援を継続していく。

営業時間

10:00 ~ 18:00

送迎の有無

有 (事業所から約5 km圏内)



健康状態

〈健康・生活〉

- ・生活動作の自立プログラム



心身機能・構造

〈運動・感覚〉

- ・全身運動遊び (ボールプール・サーキットなど)
- ・制作遊び (粘土遊び、シール貼り等)
- ・スキンシップ遊び (こしよばし歌、高い高いなど)

活動

〈認知・行動〉

- ・行動の見通し (スケジュール表など)
- ・色分け遊び、数数え遊びなど
- ・おもちゃ遊び (使い方の理解など)

参加

〈人間関係・社会性〉

- ・職員やお友達同士の遊びへと発展
- ・お友達とのやりとりや遊び方の練習



個人因子

〈体験・経験〉

- ・季節に合わせたイベントの開催
- ・近隣公園や公共施設への外出支援

環境因子

〈家族支援〉

- ・保護者の方へのフィードバック
- ・定期的な面談の実施

〈移行支援〉

- ・通園先、就学先との情報共有
- ・通園や就学先の相談

〈地域支援・連携〉

- ・担当者会議などによる情報共有

〈職員の質の向上〉

- ・職員間での支援の振り返りなど
- ・社内外の研修へ参加